

兵庫県のり漁場環境情報 (東播海域 3号)

平成30年11月8日発行

兵庫のり研究所

窒素は、陸水の影響を受けていた一部調査地点において8~14 μg at/L台、それ以外は6 μg at/L以上で平年より高い値を示しています。前回(10/29)調査同様にこの海域西部で、複数種の珪藻がやや多く確認されますが発生量は減少しており、それ以外の海域においても全般に減少していました。

(水温) 漁場内平均20.7℃(平年比+0.4℃、昨年比+0.3℃)。11月に入りここ数日、水温降下速度がやや鈍っている。

(塩分) 平均31.15psu。大潮の上げ潮ということもあり、前回(30.67)より約0.5psu高い。

(栄養塩、珪藻) 高砂以西の海域では、キートセロスを始めリゾソレニアや連鎖状の珪藻が確認されるが発生量は減少している。また、前回調査では二見から別府周辺にかけてもこれら珪藻がやや多かったが、今回調査では少し目立つ程度にまで減少しておりこの海域で窒素は6~7 μg at/L台と上昇している。今回調査は上げ潮時ということもあり、江井ヶ島以東の海域では珪藻は少なく窒素は概ね7~8 μg at/L台であった。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	21.6	20.7	20.3	20.4
窒素	5.6	8.4	6.3	8.6
リン	0.55	0.67	0.66	0.75

(10/29)

(11/6)

西播地先

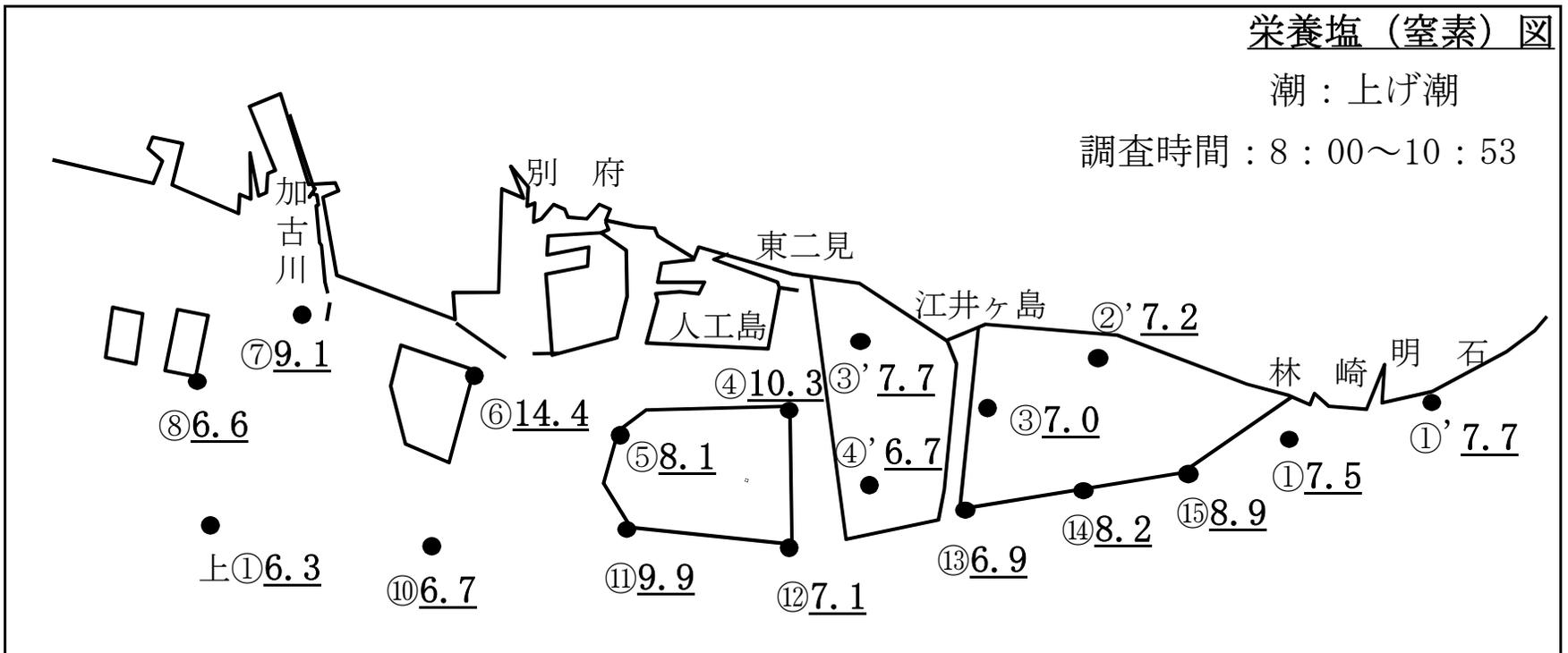
伊保地	水温	20.2℃	伊保沖	水温	20.6℃
	窒素	6.9		窒素	6.4
	リン	0.66		リン	0.66
白浜地	水温	20.5℃	白浜沖	水温	20.5℃
	窒素	7.4		窒素	6.6
	リン	0.69		リン	0.60

平成30年11月8日調査

栄養塩(窒素) 図

潮：上げ潮

調査時間：8:00~10:53



水温図

